

森林とのふれあいに向けて

森林ふれあい担当者等会議

平成二六年度「森林ふれあい担当者等会議」を10月15日(水)・16日(木)の二日間にわたり局等で開催しました。

一日目は、香美市の高知県森林総合センター情報交流館において、「里山めぐり」の木「何の木」として、講師から館内周辺の樹木の特徴(花や実など)の伝え方を学びました。(写真上、下はコブシ(モクレン科)で、赤色の袋果が裂け、白い糸で吊り下がる)

二日目は、局で、技術普及課の業務・取組等について打ち合わせ、意見交換を、また、森林ふれあい研修受講者からの伝達研修も実施しました。

二日間の会議を通じて、局等との取り組みについても積極的に意見交換する場面も多く見られました。今回の会議で得られた情報等を今後の業務に活かしてください。



誌上 森林環境教育

「動く植物 ひっつき虫」

植物は動物のように自身では自由に動きません。そこで何らかの力を借りて種を遠くへ運ぶ、子どもに人気の「ひっつき虫」の話。

展開

道ばたでズボンやシャツについたひっつき虫をルーペなどで拡大してみる。

比較

- ・イノコズチ(写真上)、センダングサの種は、先が鋭く尖りズボンに食い込む。
- ・オオオナモミ(写真中)は全身かぎだらけ。このオナモミの実からヒントを得て、マジックテープを考案。
- ・ノブキ(写真下)、メナモミ、チヂミザサなどは、ネバネバした粘液を出してひっつく。

話し合う

・「ひっつき虫」の特徴を出し合い、その戦略をまなび合う。(街の自然観察より)



知っ得 豆知識

「山の日」って

2016年(平成28年)から8月11日が国民の祝日「山の日」として施行されます。

日本は、国土の約7割を森林が占める山国です。

日本人も古くから山との関わりの中で生活してきました。

国民の祝日に関する法律第2条では、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝すること」を趣旨としています。(写真は上から石鎚山(天狗岳)・鎗戸・石立山 局HPより)



編集後記

暦は11月。里山にも紅葉が。自然の営む色づけに秋の深まりを実感。木を見て、森を見て。